

	日 時	テーマ	会 場	講 師
第1回	6月10日(月) 11日(火) 12日(水) 13日(木) 14日(金) 【一般公開】 午前9:30～11:30 午後2:00～4:30 (最終入場4:00)	「知らない」を観に行こう。Vol.14 国立療養所菊池恵楓園 絵画クラブ「金陽会」作品展 『光の絵画』と呼ばれる金陽会の絵画作品には、ハンセン病患者に対する国の隔離政策と社会の偏見・差別によって故郷に帰ることなく園で過ごさざるを得なかった方々の内なる思いが表現されています。 絵画作品を通して後世につなげていかなければならないことを感じ、ハンセン病問題がもたらしている社会の課題について考えます。	筑前町立三輪小学校 音楽室	キュレーター 藏座 江美 さん
第2回	9月14日(土) 13:30～15:00	誇りをもって生きる～太鼓づくりにかける思い～ 噂など表面的なことだけを信じた結果、生じた誤解。その誤解を解くことは難しかったという経験が皆さんにはありませんか？ 「小さな質問に対し小さく答え、納得し次の質問へと続けいくことが人権の土台作りになる」太鼓づくりにかける思い等、実体験をもとにしたお話とともに差別について考えます。	クローバープラザ7階 視聴覚研修室	宮丸太鼓店店主/ 部落解放同盟 鹿児島県 連合会 書記次長 宮内 礼治 さん
第3回	10月26日(土) 13:30～15:00	車椅子ユーザーになって分かったこと ～特別でもなんでもない二度目の人生～ 仕事中に茅葺屋根から落下し、脊髄損傷による障がいを負い車いすの生活に。障がいにおいてタブーのように扱われる、性や排せつについてなどを包み隠さず自身のYouTubeで発信しています。 「今後の誰かの役に立つのであれば！」という思いでメディア出演やイベント出演などで活動し、車いす生活でも自分らしく生きる姿を届けています。講師と一緒にダイバーシティ&インクルージョンについて考えます。	クローバープラザ7階 クローバーホール	車いすYouTuber 「現代のもののけ姫 Maco」 渋谷 真子 さん
第4回	11月16日(土) 13:30～15:00	命をつなぎ、愛を育む ～ "こうのとりのゆりかご"で救われた命 ～ "小さないのちを救いたい"という思いから生まれた慈恵病院(熊本)の「こうのとりのゆりかご」。「ゆりかご」に預けられ成人した宮津さんが語る『ゆりかごの後をどう生きるか』の話と、当時慈恵病院の看護部長だった田尻さんにもお話をうかがいます。 「かけがえない命」と自己責任論だけでは終わらせられない社会の問題について、今一度考えます。	クローバープラザ7階 視聴覚研修室	一般社団法人 子ども大学くまもと 理事長 宮津 航一 さん 学長 田尻 由貴子 さん
第5回	2025年 1月25日(土) 13:30～15:00	やさしい日本語で、やさしい世界を。 *ワークショップを予定 日本語を使う際のポイントや具体的な事例をお話いただき、ワークショップ等を通して「やさしい日本語」への理解を深めます。外国の方にやさしい日本語は、誰にとってもやさしい日本語です。言語的な多様性について一緒に考えます。 また、「やさしい日本語」の根底にある『人権』や『第三者返答』についてもお話いただきます。 *多文化共生サポーター すくすくクラブ(春日市)との共催	クローバープラザ7階 視聴覚研修室	(一社) やさしい 日本語普及連絡会 代表理事 吉開 章 さん
第6回	2025年 2月8日(土) 10:30～12:30	世界から見た日本のヒューマンライツ ～それって人権？ 思いやり？ ～ そもそも『人権』とは何でしょうか。日本では『思いやり=人権』と信じられていますが、国際人権基準は違います。日本に決定的に欠けている視点とは。 著書「武器としての国際人権-日本の貧困、報道、差別」がベストセラーとなっている講師に、国際社会からみた日本の人権問題についてわかりやすくお話しいただき、いま私たちに何ができるかを一緒に考えます。	クローバープラザ1階 クローバーホール	法学博士(国際人権法) エセックス大学人権センター フェロー アカデミック・アクティビスト 藤田 早苗 さん

▶クローバープラザ(〒816-0804 福岡県春日市原町3丁目1-7)

*現時点で決まっている内容を掲載しています。(随時更新)

*上記についても時間等変更になる可能性もあります。変更した場合は、ホームページ内でお知らせします。



ホームページはこちら